

パレット三角

進化する地図による三角町活性化計画

熊本大学工学部環境システム工学科

池田 寛章 波多江 萌
高木 雄基 原田 茉林
遠山 浩由 本田 百合絵

三角町の概要



三角町は、熊本県のほぼ中央、宇土半島の西端に位置する町である。南北を不知火海、有明海に挟まれ、西に架かる天草一号橋が天草への玄関口となっている。また、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた風光明媚な地域であり、天然の良港である三角東港、三角西港を中心とする商業・観光地域と、なだらかな丘陵を利用した果樹、ハウス園芸主体の農業地域からなる。

「パレット三角」に至るまで

- 素通り**
 - 三角は、観光資源の豊富な天草への通り道である
 - 観光客は三角の魅力に気付かずにより過ぎていた
- 点在**
 - 三角には魅力的なスポットが点在している
 - 魅力的なスポットはつながりなく点在している
 - 点在しているだけではスポットの良さは最大限に発揮されない
- つなぐ**
 - 多くのスポットでつながりを強くする
 - 魅力的なスポットを多く見つけ、点の集合としての線でスポットをつなぐ
 - スポットを見つけ出すことで三角への意識が強くなる
- 地図づくり**
 - 地図をつくることで魅力を可視化する
 - 自分で見つけたスポットを地図に記録する
 - スポットに色やアイコンなどで特色をつけていく



三角港は県内の各港と県外の港をつなぐ中継港として発展した
→もとより通り道であった
→陸路よりも海路が発達していた
→陸域よりも海域の範囲の方が重要であった

架橋により陸路中心の交通体系へ移行した
→港の役割が減少し、衰退
→合併により海の中核から陸の端となった
→住民の意欲の減退

三角の活性化＝瀬戸を含めた範囲で考える必要がある

三角の魅力を引き出す＝「パレット三角」

「パレット三角」とは

- 「パレット三角」とは
- 絵の具箱 (=三角)の中から、絵の具 (=魅力)を探し出す
 - パレット (=個人のパレットマップ) 上に載せる
 - 筆 (=個人の考え方) により、キャンパス (=共有コミュニティ) に描く (=コメントする) ここで言う「描く」とは、絵の具の色 (=特色) を言語化することである。色の感じ方が個人で違うように、その表現の仕方も様々である。よって、この「パレット三角」では、一つの色をみんなが違うように感じていることを比較し、楽しむことができる。

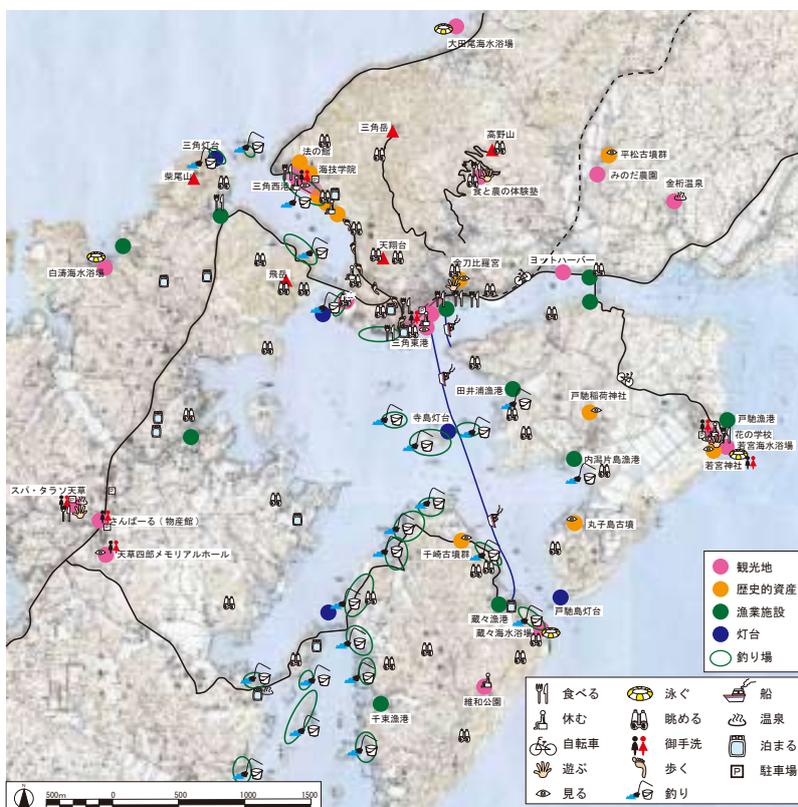
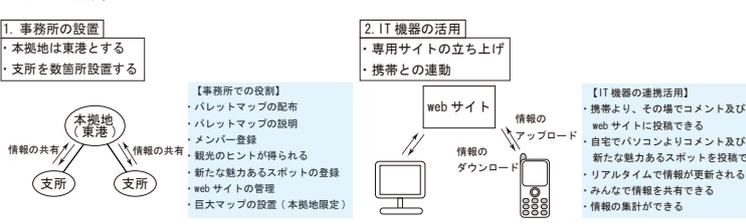
パレット三角のセールスポイント

- 進化し続ける地図、参加型の地図**
三角に在住する人(観光客・住民)が自由に参加できる。
みんなでキャンパス上に三角の情報を増やし、作り上げていく地図である。パレットのコメントを集約し、webで公開することにより、多くの人に三角のことを知らせることができる。さらに、参加者同士の意見の共有、交換により三角に関するコミュニティが出来上がる。こうして、キャンパスの情報はリアルタイムで更新されていく。
- 特色の可視化**
三角の各スポットの特色を参加者各自がコメントという形で表現することで、その場所がみんなにどのように思われているのかが分かる。
- リピーター増化計画**
webで公開された地帯のコメントを見ることにより、自分がまだ行っていないスポットのことが気になる、または、新たな魅力あるスポットを発見するために、再び三角へ行ってみたいくなる。つまり、リピーターを増やし、より三角を知ってもらうための計画である。

パレット三角ができるまで

- まずは地図を用意しよう**
既存の地図、つまりパレットを手にする
ことからパレット三角は始まります。
パレットを事務局が、webサイトから入手しましょう。
- いいスポットを探しにいきましょう**
パレットを見て「ちょっとだけ」三角に寄り道してみましょう！
- いいとご発見しよう**
三角の魅力的な場所の多くは、まだ地図にまともな情報はありません。「わたし」が思ういいスポット＝絵の具は、人それぞれあるはず。自分で発見することは楽しい作業です。
- わたしの地図に描きとめよう**
ここからがパレットの実力発揮です。パレットに、あなたが発見した新しい色を載せていきましょう。つまり、手元の地図上に魅力を書き留めるのです。
- 地図を進化させよう**
こうして、あなたのパレットに新色が登場し、よりカラフルになりました。パレットがさらに進化しましたね！
- 思い出を共有しよう**
三角で色を発見してきた仲間と情報交換をしましょう！多くの人が絵の具を持ち寄り、共に協同キャンパスに描いていくことにより、絵が深みを増していきます。皆で、より賑やかにしていきますよ！！

パレット三角のシステム



まちの深化

- 三角に埋もれていた魅力が掘り出されてくる。
- 人々の三角に対する想いが深まる。
- 三角がさらに深く理解できるようになる。

注目を浴びてくると、多くの関心を集め、多くの人が訪れるようになる。これにより、社会基盤整備が必要不可欠になるので、整備せざるを得なくなる。この繰り返しにより、まちは深化し続けていく。